

信太郎新聞

2025.1

津田信太郎です。
活動をご報告します。

HP



FUJIOKAN.HERO.SHINTARO



〒814-0013
福岡市早良区藤崎
2-12-11

TEL.
092-841-1200
FAX.
092-841-1850

ご挨拶

日頃より、大変お世話になっております。また昨年は衆議院の解散総選挙など、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。



私も昨年6月に50歳となり、36歳で初当選をして以来市議会議員生活も4期14年目を迎え、常任委員会委員長を始め市議団の総務会長、政務調査会長、そして現在は議会運営委員会委員長を拝命しております。

早良区の保育園から福岡市議会の議場見学に来てくれました

今後、給食の無料化、体育館への空調設備の導入など市議会でもしっかりと議論を重ねていきます。皆さまには仕事で恩返しをしていく所存であります。

今後とも、ご指導賜りますようお願い申し上げます。お困りなことなどございましたら、お気軽にご相談ください。



福岡城天守閣
ライトアップ



餅つきお手伝い



運動会お手伝い



パレード警備

福岡市議会にて質問に立ちました 保育園等での視力スクリーニング検査

私は議会で2年前に保育園等での視力スクリーニングの実施と3歳児検診での屈折機器の導入を要望し、再度議会質問を行い、執行部に進捗を確認致しました。

3歳児検診においては、要望通り屈折検査機器を新たに導入してくれました。そして検査の結果、従来の2倍もの受検されたお子さんが精密検査が必要と診断されました。

この結果は、それだけ多くのお子さんが早期に発見され、早期の診察、対応に繋がったと言えます。



従来の3歳児検診の視力検査だけでは、発見が難しかったお子さんを救い上げることが出来て、大変意義があったと思います。

従来、3歳児検診の後には、6歳の入学時検診しかなく、いわゆる園児の世代には検査が実施されていませんでした。

人の視力は8歳までに成人同様に発達すると言われています。

近年の子どもたちはスマホやゲーム機器などを使用する頻度が高く、目を酷使しています。遠視、乱視や弱視などの視力障害を持っている子どもが増えています。

子どもたちは自分が見えているかどうかは理解できません。

3歳から6歳の空白期間にて視力スクリーニング検査をすること



早良区南部 四箇田園広場グラウンドの、トイレが綺麗になりますよー

四箇田園広場グラウンドは、ソフトボールなどが出来る多目的グラウンドとして、長年にわたり早良区民には親しみ深い運動広場として利用されてきました。以前にもお知らせしましたが、近いうちにこの四箇田園広場を中心に総合運動公園が整備されます。

さて、この田園広場内にあるトイレの話です。

このトイレは汲み取り式な上、老朽化しており、利用者からどうかして欲しいとの声をお聞きました。

また、去年は女性の方から、怖くて使えないなどのご要望があり、所管の農林水産局に話をしたところ、早速トイレの改修してくれる事になりました。

汲み取り式ではありますが、皆さんが気持ちよく使え、特に女性には安全に利用できるようになります。



は、子どもたちの目を守るため大変有意義であると考え、議会質問をしていました。

今回、執行部は要望通りに令和7年度より、保育園等での視力スクリーニング検査を義務推奨の方針を決定してくださりました。

この方針が保育園だけでなく、幼稚園等にも広がり、福岡市内の成長期の子どもたち全員が目を守ればと思います。

ランドルト環だけの簡易検査でなく、専門家を入れての検査を実施できるように更に要望を続けていきます。

シンタロウが考える ウォーターフロントエリアの 将来像について



福岡市といえば、都心の天神、博多の2つのエリアが経済、交通、人流の拠点であることは皆さんご承知の通りかと思いますが、城下町として栄えた「福岡」と商業、文化の街とされる「博多」はそれぞれ独自の文化を持ち競い合いながら成長してきました。市政制度制定時には「福岡市」にするか「博多市」にするか議論をされたとききました。

近年では福岡市の第3の拠点として注目されている「ウォーターフロント」(以下、WF)というエリアがあります。

このWFとは、国際センター、サンパレス、国際会議場、マリニメッセ、ベイサイド、そして国際定期便やクルーズ船の発着港である博多港がある中央・頭のエリアの事を言います。

なぜこのエリアがWFと呼ばれ、注目をされているのでしょうか。

歴史的背景から言いますと、志賀島で発見された国宝である「漢委奴國王」と記された金印は、弥生時代後期から博多港を中心に大陸との貿易交流が盛んに行われていたことを証明するものがあります。

現在においても物流の拠点として国際コンテナ取扱量は約100万TEUを誇り、私たちの日常生活で使用されているモノの多くは港を通して輸入されています。

人流においては、平和台から出土した鴻臚館の遺跡が示す通り、海外からのお客様を迎える迎賓館として建立され、昔から博多港を通じ人的交流が盛んだったと言えると思います。

現在ではクルーズ船にて来訪するインバウンド客、カメラリなど交際定期便からはアサン港から多くの旅行客が訪れます。博多港は福岡空港、博多駅に並びアジアの玄関口として大きな役割を果たしております。

太古の時代から現在においてまでアジアに近いとい



「博多ポートタワー」の「博多港ベイサイドミュージアム」にて博多港の事を学べます。「展望室」からの眺めも最高です！

う地理的優位性は変わらず、国内外から高い評価を受けてきたと思います。いまの福岡市は博多港の歴史と発展と共に港町として着実に成長してきたという歴史があります。

福岡市の第3の拠点 「ウォーターフロント」 エリア

国際会議場をはじめとするコンベンション施設は年間を通して多くの各種イベントが開催されています。マリニメッセでは世界水泳が行われ、サンパレスでは多くのコンサート、国際センターでは大相撲九州場所やプロレスなどのスポーツ系の興行、国際会議場では医療系などの大規模学会などが開催されており、このWFエリアで開催できないイ

イベントはないとも言われています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大により、クルーズ船や定期便は休止し、人が集まるイベントは中止され、WFエリアの経済活力である人流は一気に冷え込みました。更には福岡市による中央・頭頭の国際ターミナルの再整備、クルーズセンターや商業施設などの開発計画はいったん白紙に戻されました。

海外からの人流、物流は国際情勢や為替変動などに大きく左右される不安定材料がありますが、165万人の生活を支える港としての外的要因に影響されることがな



ウォーターフロントの 交通インフラ整備

強い港として更に発展していく必要があります。

私はWFエリアが第3の拠点として確立するためにも、まず市民の皆さんも将来像を示し理解のもとで、更に整備していくべきだと思います。

ここで私が考えるWFの将来像。そして海辺の魅力向上のための新たな交通インフラ構想をご紹介します。

福岡市内には多くの「頭」があります。ふ頭にはそれぞれ役割がありますが、一般市民は普段行かない場所でもあります。また、ふ頭用地には多くの倉庫や工場があり、ダンブやクレーンなどの重機も横行する工業地帯が多く、市民の足は向かず一般のイメージは明るいものではないと思います。

今後はふ頭用地の再編を行い、点在する物流施設は集約し、水辺の空間を活用し「市民が集える憩いの場所」作りは実現したいと思っています。

サンフランシスコのフィッシャーマンズウォフのようなシーフードレストランやカフェなどを作り、海をみながら福岡の美味しい魚を食べられるスポットがあってもいいかと思います。



長浜鮮魚市場食普及推進施設「うおざ」 「福岡の美味しい魚を食べられる場所」として、是非ご利用頂きたいと思っています。

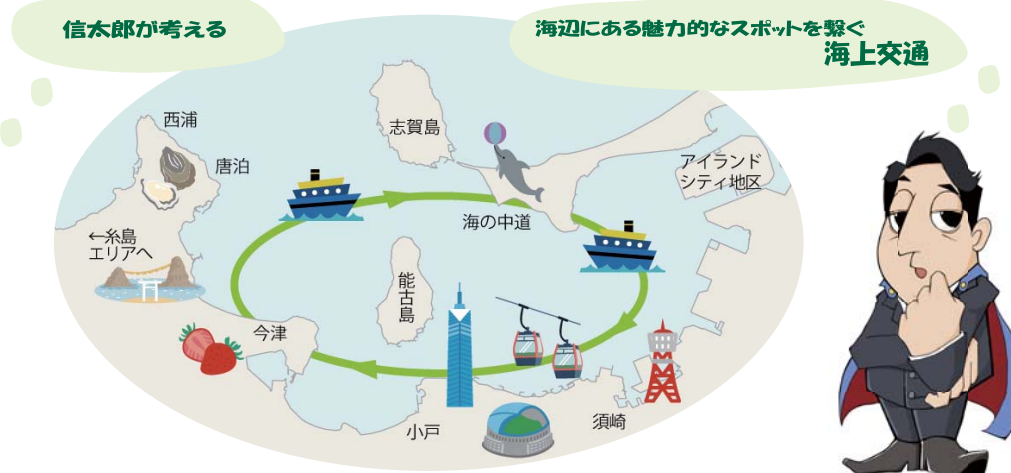


アイランドシティはばたき公園 東区アイランドシティにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。

以前大博通りのロープウェイ構想もありましたが、私は海辺の拠点をつなぐロープウェイを始めとする交通インフラ整備は検討すべきだと考えます。

博多湾と福岡市街地を見ながら移動できるロープウェイは交通手段、観光資源になり、市民のみならず観光客にも多く利用されると考えます。大変魅力的な交通インフラであると思いますが、予算的な課題、海風に対する安全性の確保などクリアしないといけない課題はたくさんあると思います。あと可能性として考えられるのが湾内スポットを回遊するクルーズのような船舶による海上移動は有効な手段と考えます。例えば私は室見に住んでいるので、一番近いマリニメッセまで車で向かい乗船し、長浜鮮魚市場で昼食を食べ、志賀島で遊び、マリニメッセまで帰ります。

私はこのエリアを含め博多港の整備、強化なしに福岡の発展はないと考えています。福岡市の海辺の高いポテンシャルをより多くの市民の皆さんに周知してもらい、天神、博多だけでなく博多港、ウォーターフロント地区の発展には注力していきたいと思っています。



信太郎が考える

海辺にある魅力的なスポットを繋ぐ
海上交通

玄洋社記念館

玄洋社記念館の活動
理事、事務局長として活動を致しております



津田家と玄洋社の関わりは、私の曾祖父、津田幾次郎が玄洋社出身の市議会議員として市政に携わり、そして伯叔祖父である津田健次郎が玄洋社員、明道館員でありました。祖父敬一郎は玄洋社記念館創立の発起人の一人であり、父隆士は理事として、私も理事、事務局として玄洋社の偉業を後世に残し続けるべく、使命を全うする所存であります。

玄洋社とは、明治14年に旧福岡藩士が中心となって結成された政治結社で、輩出した人材が多岐にわたる多彩かつ豊富な、頭山満、箱田六輔、平岡浩太郎、進藤喜平太、杉山茂丸、内田良五郎、来島恒喜、香月恕経、奈良原到、内田良平、山座円次郎、広田弘毅、中野正剛、緒方竹虎などの先達があり、郷土福岡が発展してきた歴史を語るには玄洋社の存在は欠かせず、地元福岡の政治の源流ともいえる実績がある組織であります。



このような玄洋社の巨大な足跡をふり返り、その史実を詳細に記録し、立証する資料を細大漏らさず収集して、これを広く公開するとともに後世に伝えることは極めて重要なことであります。



賛助会員を募集しております。
一般社団法人 玄洋社記念館
<https://genyosha.jp/>



どんたく
早良区のパレードに参加



デイキャンプ



ラジオ体操



ミカン狩り



お魚教室



室見探検隊



ソフトボール大会
始球式

地域活動部員！信太郎

イベントご相談下さい！

しんちゃんお魚教室

しんちゃんお魚教室は各団体様よりお声をいただき、子ども向け、男性向け、いろいろなご要望に合わせて開催しております。

魚を捌けるようになり、魚を食べる機会が増えた！との連絡をいただくと、とても嬉しいですね。福岡の美味しい魚をみんなで料理し一緒に食べましょう♪

うつくしい

「うつくしい」は、信太郎さんと共に地域に笑顔と元気をたくさん作っていききたいと思ひ活動しています。

各地域にてバスハイク、みかん狩り、バーベキューなど顔を合わせ交流できるイベントを行っています。

どうぞご参加ください。お待ちしております！



うつくしい



@UTSUKUSHIKAI

しんちゃん ゴルフコンペ

早良区内の皆様と毎年12月に開催しています。昨年末に第3回目のコンペを開催することが出来ました。ゴルフは老若男女問わずプレーできるスポーツです。若い世代、シニア世代の交流も楽しんでいます。

スポーツ推進委員！信太郎！

スポーツを通して地域でつながろう！

しんちゃんカップ バレーボール大会

地域で活動するママさんバレーボールを愛するみなさまのための大会です。男女混合でのチームも活躍しています。今年は第11回目の大会となります。

大会を通じて地域交流、健康増進の一役を担えればと思います。チームのご参加楽しみにしています！

信太郎プロフィール

- 福岡市議会議員津田たかしの長男として生まれる(昭和49年)
- 市立室見小学校・私立泰星中学校・私立中村学園三陽高校を卒業
- 九州産業大学・ノーザンバージニアコミュニティカレッジ(米国)
- 元衆議院議員山崎拓事務所秘書(平成15年)
- 徳倉建設株式会社入社 / 同社アフリカ・タンザニア事務所長
- 福岡市議会議員選挙 初当選(平成23年)
- 福岡市議会議員選挙 4期目当選(令和5年)

<役職・顧問>

- 福岡市議会 議会運営委員会 委員長
- 自由民主党福岡市議団 総務会長(平成29年度) 政調会長(平成30年度)
- 福岡市スポーツ推進委員・福岡市ソフトボール協会 副会長
- 早良区ソフトボール協会 会長・福岡マラソン支援議員連盟 事務局長
- 福岡市子ども会育成連合会 事務局長
- 早良区子ども会育成連合会 会長・(社)玄洋社記念館 理事
- 保育推進議員連盟・アビスパ福岡後援会 顧問・福岡県看護連盟
- 福岡市防水事業協同組合 顧問・福岡市鮮魚仲卸協同組合 顧問